

2007年2月17日

ほっかいどう やかん ちゅうがく つく かい さんか くだ

北海道に夜間中学を作る会に参加して下さい

じゅんぴ かいほつきにん くどう けいいち

準備会発起人 工藤慶一

さっぽろえんゆうじゅくじしゅ やかん ちゅうがくだいひょう

(札幌遠友塾自主夜間中学代表)

しゅ い しょ

【趣意書】

だれ きょういく う けんり まな い よろこ じつざい

誰もが教育を受ける権利があり、学ぶことが生きる喜びになることを実在の

じゅぎょう はじ ながねん

ものとするため、札幌遠友塾自主夜間中学の授業が始まってから17年。長年

しょう さっぽろ しみん かいかん がつ へいさ しんねん ど がつ さっぽろし きょういく

使用してきた札幌市民会館が3月に閉鎖になり、新年度4月から札幌市教育

ぶんか かいかん まな ば か

文化会館に学びの場が変わろうとしています。

ちゅうごく きこく ひと ふとうこう こども あら にゅうがくきぼう ふ

中国から帰国した人や不登校の子供たちなど、新たな入学希望が増えてい

ひつよう きょうしつすう きょうざい ほかん ぼしょ かくほ がっこう きょうしつ つか

るなか、必要とされる教室数や教材の保管場所確保のため「学校の教室を使

わたしたち ねが ま げんじつ

わせてほしい」という私達の願いは未だかなえられていません。こうした現実

だは まった あら みち もと

を打破する全く新たな道が求められています。

さくねん がつ にちべんれん せいふ がくれいき しゅうがく ひとびと

昨年8月、日弁連より政府に「学齢期に修学することができなかった人々の

きょういく う けんり ほしやう かん いけん しょ ていしゅつ ぜんこく やかん

教育を受ける権利の保障に関する意見書」が提出されました。これは全国夜間

ちゅうがっこうけんきゅうかい うった にちべんれん う い いけん しょ ないよう もと

中学校研究会が訴え、日弁連が受け入れたものです。この意見書の内容を基に

ぎむきょういく かん たいせつ ていあん ほっかいどう さっぽろし おこな はな あ つづ

して、義務教育に関する大切な提案を北海道と札幌市に行い、話し合いを続け

ひつよう こうどう けつい いた

ることが必要な行動であると決意するに至りました。

ぎょうせい ようぼう あん
【行政への要望（案）】

ぎむきょういく う きかい じっしつてき え ひと じったい はあく かのう
義務教育を受ける機会が実質的に得られなかった人たちの実態の把握を可能な限りすすめながら、

ほっかいどう こう やくわり にな こうりつ ちゅうがっこうやかん がっきゅう さつぼろし
① 北海道におけるセンター校の役割を担う公立中学校夜間学級を札幌市に開設すること。

どうない じしゅ やかん ちゅうがっこう うんえい みるかん だんたい たい がっこう きょうしつしゅう しゅ
② 道内自主夜間中学校を運営する民間団体に対し、学校の教室使用を主とする施設の提供と財政的支援を行うこと。

きょういく う きかい ほしょう こじん きょうし はけん しさく すず
③ 教育を受ける機会を保障するため、個人教師の派遣などの施策を進めること。

きぞん がっこう う い たいしょうしゃ かくだい
④ シニアスクールなど、既存の学校の受け入れ対象者を拡大すること。

じゅうしょへんこう とどけ びょういん もんしん ひょう こうてき しょうい かんじ
⑤ 住所変更届や病院の間診票など、公的書類の漢字に「ひらがな」をふり、苦しみを和らげること。